

# 広報 しばた

## つるし雛に思いを込めて

30年以上続く手芸サークルの皆さんが、  
着物の生地などの材料を持ち寄り、  
約1年かけ、地域の子どもたちのことを思い、  
丁寧に手づくりしたつるし雛。  
つるし雛の人形には、それぞれに無病息災、  
厄除けなどの意味があります。  
一つ一つ思いが込められたつるし雛の華やかな飾りは、  
春の訪れを感じさせてくれます。

【写真：2月4日(月)中名生集会所】

【特集】

# 平成31年子ども議会

## 「笑顔も 桜も 咲く柴田」



問 教育総務課 ☎55-2134



2月6日(水)、船迫小学校  
6年生児童による「子ども議  
会」が開催されました。

子ども議会は、町政のしく  
みについて学ぶとともに、次  
代を担う子どもたちが、ふる  
さについて自らの考えを提  
案することで、まちづくりに  
参加する意欲を育むことを目  
的に、毎年開催しています。

今議会のテーマを「笑顔も  
桜も咲く柴田」と題し、8人  
の議員からの一般質問が行わ  
れ、子どもたちの真剣な提案  
に、議場は本会議さながらの  
雰囲気にも包まれていました。



お礼の言葉  
か も りょういち  
加茂 僚一 君



進行  
た の こうたろう  
高野 浩太郎 君



はじめの挨拶  
あ べ だいき  
阿部 大輝 君

「花のまち」として  
よりよい町にするために



1番  
す ず き いっさく  
鈴木 一咲 議員

柴田町は「花のまち」とし  
て有名です。季節ごとの「花」  
を用いたイベントが行われて  
います。しかし、僕たちは柴  
田町が「桜」を中心にした  
「花のまち」にするため  
もってできることがあるので  
はないかと考え、二つ提案し  
ます。

①河川敷の除草作業と雑草交  
流会の開催を



②はなみちゃん以外にもゆる  
キャラを

**【答弁】** ①年一回、桜まつりの  
開催前に、「おもてなしク  
リーン作戦」と題して、多く  
の皆さんに参加をいただき、  
白石川の河川敷や土手のごみ  
拾い、草刈りなどをして、美  
しい環境の中で心地良く花見  
を楽しんでいただけるように  
しています。この「クリーン  
作戦」を「雑草交流会」のよ  
うに工夫を凝らし、より一層  
多くの方々に参加していただ  
けるようにしていきたいと思  
います。

②桜の妖精と柚子の妖精の間  
に生まれ、頭は桜、体が柚子  
のはなみちゃんは、海外に出  
掛けて「一目千本桜」のPR  
を行っています。まずは、国  
内外で活躍する「はなみちゃ  
ん」を、柴田町のキャラクタ  
ーとして、PRしていきたい  
と考えています。

鈴木議員が考えた「さくら  
たろう」もユニークで愛らし  
いキャラクターですから、鈴  
木議員のクラス、あるいは船

迫小学校のキャラクターとして活躍してもらってはとうでしようか。

## 火災ゼロ、犯罪ゼロの柴田町を目指して



2番 佐藤 澄春 議員

火事は、大切な財産や人命を奪う恐ろしいものです。柴田町では平成30年中に9件の火災が発生していました。また、火事と同じくらい怖いのは犯罪です。平成29年は219件も犯罪が発生していました。僕は、柴田町をより安心・安全な町にするために、次のような提案を考えました。①火災を予防するための心の育成を  
②防犯カメラの設置、街灯の増設を

**【答弁】** ①まず火災予防が大変重要です。柴田町には消防団・婦人防火クラブ・幼年消

防クラブがあり、家庭から火災を出さない活動を行っています。また、町のホームページに「火災への備え」を掲載し、火災予防を呼びかけているところです。今後は、柴田消防署などと防火心得の内容などを話し合っており、お知らせ版への掲載などを含め検討していきたいと思っています。

②町では、防犯カメラによる監視よりも、小学生の登下校時の見守り隊や各種防犯団体の活動、防犯パトロールの実施などにより、地域ぐるみでの犯罪抑止力を高め、住民の皆さんなどの「地域の目」による監視が犯罪防止には効果的であると考えています。

次に佐藤議員が言われる街灯は、町では防犯灯と呼んでおり、幹線道路については、町が設置し、生活道路については、行政区が必要と判断した場所へ設置しています。今後も、火災や犯罪の防止に努め、安心・安全に生活できるまちづくりを行っていきます。

## よりよい施設で、にぎわい、住みやすい町を目指して



3番 安藤 瑠夏 議員

柴田町をよりにぎわい、住みやすい町にするためにぜひ、検討していただきたい施設や交通機関について、提案します。

①大きいショッピングモールの誘致を  
②公共バスの運営を

**【答弁】** ①町内に、さらに大きなショッピングセンターが来ると競争が激しくなり、これまで立地したショッピングセンターや地元で昔からあるような小さな商店が無くなる恐れがありますので、大型店も小さな商店も地域で共存できるようにしていきたいと考えています。

これからも魅力的なお店や商店街づくりを商工会などと一緒に取り組み、多くの人に

地元で買い物をしていただけるようにしていきます。

②柴田町では、路線バス方式ではなく、利用者の予約により、自宅から柴田町の中であればどこでも走るデマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」を運行しています。運行開始から7年目となり、お客様も多くなり、高齢者の方々の足として定着している状況です。

今後、みやぎ県南中核病院など柴田町の外への運行の可能性についても検討しながら、安藤議員ご提案のにぎわいがあり、住む人にも優しいまちづくりを推進していきます。

## 桜以外の魅力も、もっとアピールするまちづくりへ



4番 玉手 杏胡 議員

柴田町には、桜以外にもたくさんの魅力があると思います。その魅力をもっとアピ

ルすることで、柴田町をさらに活気のある有名な町にしたいと願い、次のような提案を考えました。

①船岡城址公園のアピール、大きなイベントの企画を  
②雨乞のゆずのアピールを  
③太陽の村のよさをさらにアピールを

**【答弁】** ①船岡城址公園では、昨年10月に船岡平和観音像の足元の台座部分に日本庭園が出来るなど、新しい魅力が生まれています。「しばたフアンタジーイルミネーション」は、毎年工夫を凝らしてパージョンアップを行っています。一層の充実を図りたいと考えています。

②町では、「雨乞の柚子生産組合」と協力して、柚子の産地としての生産量の増加と品質の向上を図ってきました。現在では、お菓子や調味料、お酒などの商品が販売されています。また、「しばた柚子フェア」では、柚子を使った料理の試食やレシピの配布を行い好評を得ています。今後

も、新たな加工品の開発や販売を促進し、雨乞の柚子を地域のブランドとして広くアピールしていきます。

③太陽の村の一番のアピールポイントは、太平洋が一望できる景観と広大な芝生や豊かな自然です。今後も新しい遊具を設置したり施設を改修したりする計画もあり、子どもからお年寄りまでが遊び・憩い・集う「冒険遊び場」として、さらにアピールしていきます。

### いじめをなくして 希望あふれる柴田町へ



5番 ねね 議員  
かたもり 兆森

現在、いじめは社会問題となつています。柴田町でもいじめはあつてはならないことです。柴田町からいじめを出さないために、そして、夢や希望あふれる柴田町の未来をつくるために、私は次のこと

を提案します。

①先生たちの数を増やし、一学年の子供の数を減らせば、先生たちが子供たちをもっとしっかりと見守ることが出来るのでは

②柴田町独自でいじめゼロを呼びかけるポスターを作成して、各校に掲示することで、町全体として取り組みを進める必要があるのでは  
③学校をもっと楽しくして、いじめや不登校をなくすために、町が主催するイベントをもっと増やしてほしい

### 答弁

①学校生活を快適にするための施設の整備などの課題がたくさんあり、町だけの予算で、先生の数を増やすことは難しい状況となつています。そこで、公立の小中学校の全ての学年において、35人以下学級を早急に実現してほしいということを県の教育長に要望してきました。これからも国や県に対して要望していきます。

②柴田町の小中学校では、昨年度から、「いじめ見逃しゼ

口運動」としていじめ対応に取り組んでいます。今後も、小中学校での取り組みを推進し、学校と保護者、地域が力を合わせ、町全体として総力を挙げて、いじめの早期発見・早期対応に向けて、取り組みを継続していきます。

③ご提案いただいた「町のみんなが仲良くなれるイベント」、「学校をもっと楽しくして、いじめや不登校をなくすイベント」については、今後検討をしていきたいと考えています。

これからも学校と家庭や地域の皆さんが一体となって取り組みを進めていって、柴田町の全ての子どもたちが、夢を持って、より楽しく生活できるようなところになることを心から願っています。



### みんなで楽しくにぎわえる 町を目指して



6番 とうみ 議員  
いとう 純夏

私は、この柴田町をよりにぎやかで、活気あふれる町にするために、イベントを改善することを提案します。

①インターネットを活用したゆるゆるの宣伝を  
②2月のイベントの実施を

### 答弁

①インターネットの活用は、特に若い人を中心にイベントの告知やPRにとっても有効かと思われれます。町としてもいろいろな機会に、SNSなどのインターネットを活用し、雨乞の柚子やぜいたく味噌、船岡城址公園や太陽の村など、柴田町の特産品や見所をどんどんアピールして行きたいと考えています。

②伊藤議員からご提案いただきました「豆まき」や「恵方巻作り」などのアイデアを参



考に、これからも地域とのつながりを考えながら、皆さんに集っていただけるようなイベントを検討していきたいと思っています。また、2月に船岡城址公園では、寒紅梅や蟬梅が咲いていますので、それらを生かした、新たなイベントを企画したいと思っています。

### 桜に関するお土産の多い柴田町へ



7番 柴田 朔人 議員

僕たちが住む柴田町は、桜でとても有名です。でも、桜に関するお土産は、十分にあるのでしょうか。観光客に残すようなお土産は十分にあるのでしょうか。このような提案を考えました。

③柴田町にも道の駅を  
**答弁** ①柴田町観光物産協会や商工会、そして地元の菓子店などへ呼びかけ、船岡城址公園と白石川堤一目千本桜、そして柴田町をアピールし、さらに、観光客の心に残るような桜のお土産品の開発に取り組んでいきたいと思っています。  
 ②はなみちゃんグッズ以外にも増やしていくことができれば、観光客の方にさらに喜んでもらえる観光地になると思います。しかし、もっと多くの観光客に来てもらい、常に商品が売れていないと商売になりませんので、今後ともさらに観光客を増やしていくために、観光地としての魅力アップと桜まつりをはじめとするイベントの充実、観光情報発信を行っていききたいと思っています。

の駅」の役割を果たしているとも言えます。「さくらの里」を今まで以上に宣伝しながら、お土産品やグッズなどを増やす工夫をし、お土産品などを買うだけではなく、柴田町の良さを伝えられるような施設にしていきたいと思っています。

### 安全で美しい町にするために



8番 藤原 竜旺 議員

私たちは、安全で美しい町にするために、三つのことを提案します。

- ①街灯の増設を
- ②カーブミラーの改善を
- ③白石川沿いの道路にゴミ箱の設置を

**答弁** ①ご提案のあった柴田大橋の周辺については、地域と相談し、設置を進めていきます。また、過去に設置した水銀灯や蛍光灯などの防犯灯

についてはLEDに交換し、夜間の安全な通行と電気料金の軽減を図っていきます。  
 ②ご提案の新生町のトンネル前を確認したところ、北船岡方面からトンネル内を映すカーブミラーは設置されていませんでした。安全確保の点からカーブミラーの設置が必要であると判断し、早速、取り付ける工事を行いました。さらに今後は、注意喚起の看板を設置して、安全対策を講じていきます。  
 ③ご提案があった白石川沿いの道路にごみ箱を設置した場合、誰も見ていないと何でも捨てられてしまい、分別などの管理ができなくなることから、残念ながら難しいと考えられています。今後も、特にポイ捨ての多い箇所については、環境指導員により重点的巡回や監視を行います。また、ポイ捨てをすることなく、持ち帰って正しく分別し、ごみ集積所へ出していただくように、お知らせ版などを通して、広く町民に呼びかけ、マナーの向上を図っていきます。

※議事の内容を抜粋して掲載しています。

### 子ども議会を終えて



ただむら 優衣 議長

私は、議長をやりました。議会の前日は、何回も原稿を読んで練習をしました。そのおかげで、よくできました。本番は、大人の人たちがたくさんいて、とても緊張しました。でも、ちゃんと議会を進行できたのでよかったです。



あけまつ 咲来 副議長

私は、副議長をすることに、最初はとても不安でした。失敗しないか、間違えずにセリフを言えるかどうかなど、前の日からドキドキしていました。でも、当日はセリフを大きく間違えることもなく、しっかりと議会を進めることができましたと思います。終わったとき、副議長をやったよかったですと、心から思いました。



153

柴田町長 滝口 茂

春まだ浅い時期ですが、今回は、春の香りが漂うようになつてきた白石川千桜公園をご案内します。昨年、しばた千桜橋の下に造つた、枕木花壇が散策のスタート地点になります。

まず目に入るのが、ハナモモの並木道です。この並木道は、「日本一の花桃の里」長野県阿智村阿智川の川辺の美しさに魅せられて、植栽したものです。花芽を膨らませた源平しだれ桃が見頃になるのも、もうすぐです。のんびり歩きながらポケットスペースのベンチで一休み、春の訪れを感じながら、物思いにふけるのも一興です。

一息ついた後、また西に向かい、太鼓橋を渡つてUターン。このエリアは、桜や吉野ツツジの桃色とスイセンやレンギョウの黄色、そして、ムスカリやムラサキハナナの紫色のグラデーションに一見の価値があります。

次に、鷺沼のせせらぎやヒバリの鳴き声を聞きながら、ウッドデッキへ向かいます。ここに来ると、高校の元応援団長などで編成された「青空応援団」の皆さんの応援演舞を思い起こします。学ランに身を包み、応援団旗を振りかざし、手振りの型で「フレッ！フレッ！マリー！」と名前を呼ばれ

## 白石川千桜公園のそぞろ歩き

た外国人旅行者は大喜びでした。このイベントは、花見客に大変好評だったので、今年も実施したいと思っています。

さらに歩みを進め、可憐で清楚な花が咲くヒユウガミズキ畑を眺めながら階段を登れば、モニュメント広場に着きます。ここは、元は町の水道の取水施設があつた場所

ですが、柴田町の誕生60周年を記念し、東屋やベンチ、そして、御影石で制作したモニュメントを設置し、リノベーションを行ったところです。この場所から望む、残雪を抱く蔵王連峰や、きらりと川面が輝く白石川、そして、白石川堤一目千本桜が織り成す景観は、コントラストが鮮やかで、昨年、月刊「デジタルカメラマガジン」でも絶景の花見の名所として紹介されました。

さらに、堤防をそぞろ歩きし、沢辺の一本桜を楽しみ、昨年3月に完成した平橋を渡つて、40分の花巡りの散策は終わります。

出会う人からは、「きれいになりましたね」、「楽しんで歩いています」と声をかけられます。

こうしたお褒めの言葉を励みに、今後も健康づくりや心のリフレッシュのために、自然や花畑を楽しみながら歩けるコースづくりやまちづくりに取り組んでまいります。

## しばた歴史探訪

これから2017年3月に発刊された『しばたの歴史ガイド』をもとに、柴田町の歴史のあゆみをたどつてみたいと思います。まずは、船岡館跡をご紹介します。

### 第一回 船岡館(別称 柴田城・四保館)跡・舟岡要害

船岡館跡は、船迫の丘陵に対し、その間に白石川と奥州街道を挟む館山(四保山)にあります。この交通の要衝を抑える役割が、船岡館にはありました。

現在、船岡平和観音像が建つ山頂の平場が本丸跡です。本丸には、腰曲輪(側面に設けた削平地)がめぐらされ、北側には空堀が設けられて防衛が固められています。

この本丸の南東側に二の丸があります。慶長年間(16世紀末〜17世紀初頭)に、伊達政宗の家臣屋代勘解由兵衛景頼が住み、「絹引きの井戸」が残っています。南東斜面には、段築・土塁・空堀の防衛施設を備えています。二の丸から、その北東側の三の丸は、一本の道(現在スロープカーが通る)で結ばれています。

三の丸には「城中井戸」があり、西側に土塁と段が残っています。柴田氏が、寛文事件(1671年)後に原田氏に替わつてこの地に戻り、居館を設けました。三の丸から、今も残る「く」の字に折れ曲がる坂道(みだれ坂)を下りると、大手門となり、家中屋敷に出ました。

なお、江戸時代を通じて、この船岡館は町場と家中屋敷を含めて、「舟岡要害」として位置づけられ、伊達家の有力家臣によって支配されました。



三ノ丸全景

圓しばたの郷土館 ☎55-0707



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ55

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第55回のテーマは、「自殺対策」についてです。

3月は「自殺対策強化月間」です。

自殺は、さまざまな悩みや問題を抱えることで、心理的に追い込まれた末の死と考えられています。自殺を考えている人は、何らかのサインを発しています。そのサインに気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人を「ゲートキーパー（命の門番）」と呼びます。一人でも多くの方にゲートキーパーとしての意識を持っていただき、専門性の有無にかかわらず、それぞれの立場でできることから進んで行動を起こしていくことが、自殺対策につながります。かけがえのない大切な命をみんなで守りましょう。

## 気づき 家族や仲間の変化に気付いて、声をかける。

悩みを抱えている人のサイン

- 表情が暗く、元気がない。
- よく眠れていない。
- ミスや物忘れ、遅刻や休みが増えた。
- 食欲がなく、痩せてきた。
- 体調不良(だるい・頭や体が痛いなど)がある。
- 飲酒量が増えている。

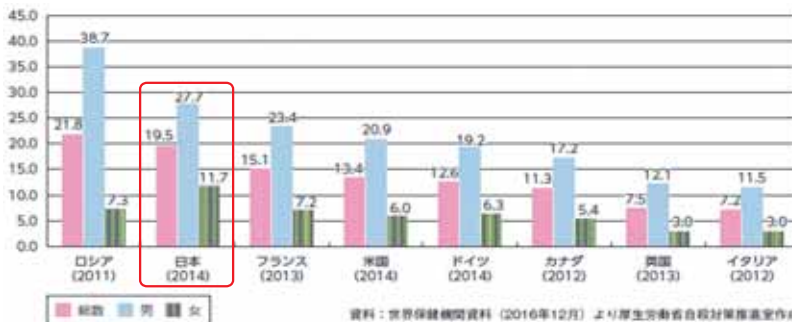
## 傾聴 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。

傾聴のポイント

- 相手の気持ちに寄り添い、共感の気持ちを伝える。
- 相手のペースに合わせ、沈黙も共有する。
- 「心配している」という気持ちを伝える。
- 「大変だったね」とねぎらう。
- 「話してくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝える。
- 安易な励ましや否定はしない。

## つなぎ・見守り 早めに専門家に相談するよう促す。温かく寄り添いながら、じっくり見守る。

日本は人口10万人あたりの自殺者数が主要国の中で第2位と多い国です。



保健師からのアドバイス

悩みはひとりで抱え込まず、身近な人や仙台いのちの電話（☎022-718-4343）、宮城県自死対策推進センター（☎0229-23-0028）などの専門機関に相談しましょう。

広告

広告

# まちかど NEWS



会場は、たくさんの方の来場者でにぎわっていました。

## 第34回ふるさと交流のつどい

NEWS

2月17日(日)、柴小地区地域づくり推進協議会主催のふるさと交流のつどいが農村環境改善センターで開催されました。

とんぼ玉やリースなどの作品展示のほか、ステージ発表が行われ、歌や踊りが終わると、多くの拍手が沸き起こっていました。

ダンスを踊った第二たんぼ幼稚園年長組の渡部榛斗君と新田美桜さんは、「王子様とシンデレラガールになりきって上手に踊れました。楽しかったです」と元気に話してくれました。



第22行政区の皆さんによる見事な組体操。

## 職業選択のきっかけをつくるキャリアセミナー

NEWS

1月31日(木)から2月6日(水)にかけて、町内の3中学校でさまざまな職業の方から働くことについての話を聞き、将来を考える機会をつくるキャリアセミナーが開催されました。

講師から、仕事の内容などを聞いた生徒からは積極的な質問が飛び交っていました。

受講した今野生斗さん(槻木中1年)は、「何事にも、やれるという気持ちでチャレンジしたいこうと思えました」と感想を話してくれました。

整体で行われるマッサージを体験しました。



大切に校舎を使うことを約束してくれました。

## 大規模改造工事へのお礼に児童が訪れました

平成29年6月から行われていた船岡小学校大規模改造工事が昨年12月に完了し、校舎が使いやすくなったことへのお礼に、2月7日(木)、児童を代表して高橋大和君(6年)と今野晴暖さん(6年)が役場を訪れました。

滝口町長に贈られた手作りの「大規模改造記念アルバム」には「校舎がきれいになったおかげで、快適に学校生活を過ごせるようになりました」と感謝の言葉がこぼれられました。

広 告

広 告



## 伝統の地区対抗かるたとり大会

1月20日(日)、船迫小学校で、第37回地区対抗かるたとり大会が開催されました。

絵札は、縦45cm、横36cmもあり、読み札とともに、各地区の子ども会が作成しました。札が読み上げられると、太鼓の音を合図に、子どもたちは、絵札を指して、元氣よく走り回っていました。

西船迫3丁目子ども会の遠藤あかりさん(6年)は、「最後のかるたとり大会で優勝でき、しかも2連覇なのでとてもうれしいです」と話してくれました。



うれしそうに絵札を掲げていました。

## 昔遊び体験教室



子どもたちは、丁寧に教えてもらいながら、兜や紙鉄砲を上手に折っていました。

1月29日(火)、「昔遊び体験教室」が、東船岡児童クラブ(三名生児童館内)で開催されました。

町各種婦人団体連絡協議会の皆さんと子どもたちが、和やかな雰囲気の中で、折り紙やお手玉、あやとり、おはじきといった昔ながらの遊びを通して触れ合っていました。

副会長の大槻富子さんは、「昔は遊ぶものがなくて、工夫して遊んだことを思い出し、一緒に楽しく遊ぶことができました」と話していました。

## 雑魚(ざっこ)獲りと食味会

1月26日(土)、上川名地区活性化推進組合の主催で、四日市場道下揚水機場を清掃しながら、魚を獲り、その魚を食べる「雑魚獲りと食味会」が開催されました。

巨大なコイやナマズ、ウナギなどが獲れ、食味会では鯉こくやナマズ揚げ、郷土料理などを、参加者はおいしそうに食べていました。

仙台市太白区から参加した佐藤瞬人君(7歳)は、「網が破けるくらい、たくさん魚を捕まえることができて楽しかったです」と話してくれました。



子どもも大人も夢中で魚を追いかけていました。

告 白

告 白

こうほう 文芸

俳句

孫からの大きな文字の初賀状

船岡

可沼 妙子

ふる里の行事を記し新暦

下名生

笠松ふみ子

門前に牛車来てをり雛納

石母田屋人

鎌形 清司

大梁に栄華をとどむ雛の家

齋藤 善則

空青し雪止む枝に小さな芽

珈琲のかをる店先つるし雛

鈴木 三山

初音待つ今日の予感や風のいろ

震災の海へ三里の流し雛

鈴木 清子

初音待つ今日の予感や風のいろ

梅真白紙面うつむる兜太の句

鈴木 清子

初音待つ今日の予感や風のいろ

川柳

年ごとに帰省で感じる親の老

西船迫

H・G

お茶の間の観葉植物豆苗で

船岡

小林 夢子

春一番花粉飛散は悲惨です

西船迫

安ヶ平良三

シクラメン寒い玄関色添える

船岡

阿部美代子

短歌

平成の御世の終りを惜しみつつ

夫とむかへる新元号

船岡

可沼 妙子

講堂の恩師のビヨロン目に浮かぶ

耳に残るは「ふるさと」の歌

四日市場

鳥井崎七老

男孫の絵馬隣どうしに囲まれて

翔ゆく春の受検の最中

船岡

伊藤タイ子

名月や雲間にかくれ暗やみに

そつと肩寄せ無言の二人

西船迫

下浦 智子

春眠や身ぬちにひびく空鏡

鈴木 幸子

河の渦胸の渦へと雛流す

相馬カツオ

男孫ばかりや雛のあられ食ふ

峠 三枝子

脈々と大和心や雛祭

吉田 啓子

空青し雪止む枝に小さな芽

安藤 節子

めだかたち薄氷の中動き出す

西船迫 安ヶ平奈津枝

初音待つ今日の予感や風のいろ

西船迫 深見 半爺

大手降り歩幅がせまい高齢者

西船迫 舟廻めぐる

迫りくる老後を友と語り合う

榎木 加藤 マサ

独りとは自由不自由春隣

下名生 笠松ふみ子

雪解けて谷の流れはせせらぎの

自然奏でる音懐かしけり

榎木 平間 三郎

孫の背で思い出つめたランドセル

感謝の今日は「孫の門出」に

本船迫 森田 眞六

小春日にぼんぼんぼんほとほとばしる

言葉はだれかほこんでくるような

船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで3月11日(月)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

## 第3回 しばたスプリング・フラワー・フェスティバル

ウメ・スイセンなど早春に咲く花々の観賞とミニコンサートをお楽しみ下さい。

開催日/3月16日(土)・17日(日) 会場/船岡城址公園

主なイベント/  
 両日共通 10:00~ 柴田町特産品コーナー、巨理産イチゴの即売会  
 11:00~、14:00~ ミニコンサート  
 16日のみ 12:00~ はなみちゃんとじゃんけん大会・写真撮影会

問 商工観光課 ☎55-2123

広 告

広 告



# 柴田町の 記憶 をたどって

3月は卒業のシーズン。  
慣れ親しんだ学び舎から旅立つ姿を振り返ります。



平成元年3月8日、柴田高校の卒業式が行われ、第一期生242人がそれぞれの道へ巣立ちました。  
(広報しばた平成元年4月号より)

昭和59年3月19日、西住小学校(昭和58年開校)で行われた第1回目の卒業式。25人の卒業生に記念すべき卒業証書が手渡されました。  
(広報しばた昭和59年4月号より)



# こども美術館



「モチモチの木」(絵)

西住小学校3年

山崎 ゆい さん



「自画像」(版画)

西住小学校4年

幕田 藍丸 さん



広 告

広 告

広 告

広 告

## 丁寧な仕事で信頼される 職人を目指します

株式会社大栄ステンレス研磨工業  
木戸 浩貴さん（29歳）

今回は、船岡工業団地内でステンレスの研磨加工を行っている株式会社大栄ステンレス研磨工業の木戸浩貴さんをご紹介します。



ステンレス研磨とは、ステンレスの製品や板などの表面を削り、鏡のような光沢を出す加工です。この加工には、商品価値の向上や、ステンレス表面の傷や異物の除去などの効果があります。

入社3年目の木戸さんの担当は、その研磨作業全般に及びます。「仕事では丁寧な作業を心掛けています。研磨したところに傷をつけてしまうと商品にならなくなってしまいます。研磨作業中だけではなく、梱包まで細心の注意を払っています」と話します。

研磨を行う商品も、トラックに使用される部品から大きなものでは5尺（約1.5m）×10尺（約3m）程のステンレス板まで多種にわたるそうで、「やはり大きな物を磨くときのほうが神経を使います。また、作業も2日がかかります。その分、磨きが完成したときには達成感がありますし、お客様から当社に任せて良かった

と言ってもらえたときは、やって良かったと感じます」と話してくれました。

上司の方は、「どうしても汚れる仕事であるし、厳しい環境の中で作業を行うので、若い職人が育ちにくい。入社時に3年間は大変だと伝えたが、とても真面目で仕事に対する責任感が強く、よくここまで頑張っていると思います」と木戸さんを評価されています。

今後について伺うと、「今は先輩方の姿を見ながら技術を習得している段階。早く追いつけるように頑張りたいです」と語ってくれました。

空手の「型」で国体出場経験を持ち、仕事と両立させながら現役の選手としても活躍を見せている木戸さん。これからも真面目な人柄と丁寧な仕事で立派な職人を目指して頑張ってください。



フォークリフトで商品の荷降ろしを行う木戸さん。



株式会社大栄ステンレス研磨工業  
柴田町大字船岡字山田1-43  
TEL 55-1254

昭和37年設立（東京都荒川区）。その後、柴田町へ移転。数少ない研磨業として東北各地から依頼を受けている。従業員6人。

人口と世帯数  
(平成31年2月1日現在)



37,904人  
(前月比52人減)



18,911人  
(前月比32人減)



18,993人  
(前月比20人減)



15,748世帯  
(前月比20世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。